

こんにちは 皆野町議会です！

みなのもち 議会だより

埼玉県皆野町議会

第4号

平成24年12月定例会
2013年2月1日発行

美の山



武甲山



宝登山



両神山



12月定例会「議会はここに注目！」

P.2

下田野橋の新設に向け、増額補正

町に聞きました

P.4

6名の議員が一般質問

視察レポート

P.7

見てきました！ 先進地



みんなの
みなのもち議会

一部事務組合議会議員からの報告

P.8

新火葬場建設に向けて

表紙シリーズ **みなの新観光スポット**

「新皆野橋」

橋の中央から望む、東に美の山、西に両神山、南に武甲山、そして北に宝登山、皆野町の新しいランドマークです。

秩父ジオパークの出発点にもなっています。



みみな

平成24年度

補正予算を可決

皆野町議会第4回定例会は、昨年12月13日に開催され、上程された町長提出議案8件をすべて可決・承認・同意しました。（審議結果は3ページをご覧ください）

町政に対する一般質問では6名の議員が登壇し、活発な議論を行いました。特に金沢地区の残土崩落事故については、4名の議員から質問と意見が出されました。



み～な

本定例会において、平成24年度の一般会計補正予算（第4号）について審議しました。この中で議会が注目した2点についてお知らせします。

議会はここに注目！

下田野橋新設 に向けて測量調査 委託料を計上ほか



現在の下田野橋。新橋が完成した際は歩道橋として残される計画です。

町長提出議案

平成 24 年 12 月定例会で審議された議案	審議結果
皆野町こどもの医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
皆野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決
秩父広域市町村圏組合の規約変更について	原案可決
平成 24 年度皆野町一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
平成 24 年度皆野町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
*専決処分の承認を求めることについて（平成 24 年度皆野町一般会計補正予算第 3 号）	原案承認
教育委員会委員の任命について	原案同意

*印については、下に解説を入れています。

ここに注目！

下野野橋の新設計画

議会では以前から、橋自体の老朽による危険性と幅員の狭さによる通行上の危険性から、早期の橋の建設または補修をするよう指摘してきました。今回の補正予算では、新設のための測量調査委託料として1386万円が計上されました。なお、橋の架け替えにあわせ、取り付け道路整備として、町営住宅までの改良工事を計画しています（現在の橋は歩道橋として残す計画です）。

◆早期建設に期待

国土交通省の調査では、各自自治体が管理する15メートル以上の道路橋（6万箇所）について、補修が建て替えが必要とされています。下野野橋も国の交付金による建設となりますが、国はインフラ全般の安全対策に取り組む方針を打ち出していますので、早期着工が期待されます。町道下野野1号線は町の主要な道路であり、議会としても交通の安全を確保するための道路改良に向けて取り組んでいきます。

ここに注目！

みくろな子ども公園へ寄附金

町内の豊田幸雄様より、公園の整備資金として1000万円の寄附をいただきました。心より感謝を申し上げます。

◆貴重な寄附金の有効活用を

みくろな子ども公園は、24年春開設以来、利用者からはおおむね好評ですが、日よけ雨よけ、照明・案内板の設置、アクセス道路等、まだまだ整備が必要です。貴重な寄附金が有効に活用されるよう、提案とチェックをしっかりと行ってまいります。

こども医療費等の窓口払いがなくなります

「皆野町こどもの医療費支給に関する条例等の一部改正」は、こども医療費等の窓口払いを廃止するためのもので、平成25年4月から実施されます。これによって、15歳までの子どもが病院などにかかる際は、健康保険証と受給資格証を提示するだけで医療費等の窓口払いはなくなります。「皆野町ひとり親家庭等の医療費支給」「皆野町重度心身障害者医療費支給」についても同様となります。



専決処分とはなんですか？

町長が議会に代わって意思決定を行うことです。専決処分できるのは、議会の委任があった場合、また地方自治法の規定により、緊急を要するために議会を招集できない場合などに限られています。

一般質問の内容をすべて文字にすると、A4サイズの用紙で20～30ページのボリューム。そのため議会だよりでは議員本人が要約執筆したものを載せています。全文は総合センターなどに設置されている会議録のほか、町ホームページ（議会欄）でも閲覧できます。

若林光雄議員が問う

建設残土の崩落について

質 残土崩落により、押し流された土で住宅2棟が全壊し、谷間が350メートル埋まりました。住宅所有者が不在で難を逃れたことは不幸中の幸いでしたが、この事故は金沢地区民が大変心配していた最悪の結果となりました。

答 今回の事故は天災ではありません。6月議会で開発の確認をしましたが、町では指導・要望を実施しているのですか。

質 開発許可権限は埼玉県の所管であり、町では意見書として6項目について特に配慮すべく、指導を県に要請しました。今後の復旧は、県及び事業者において対応します。

質 想定外の事故による建物・土地補償問題はどのよう
答 補償は、事業者・県に対して誠意を持った対応を強く要請し、交渉は町施設を提
供して開催されました。今後の

状況を見守りたいと思います。

質 下流に対する土砂流失の危険性や土壌・水質検査等、今後の対策と処理を県に對しどのように求めていきますか。

答 二次災害防止対策として、水路の設置、土砂流出防止工事、流出計量機器とカメラの設置等を実施。土壌・水質検査等は依頼済みと聞いています。最善の対応を県に要請します。

質 団員手当は平成2年より、20年以上見直しが行われていません。災害が起これば、頼みは消防団。団員の皆さんには、安全で安心なまちづくりに、多くの活躍をしていただいています。今回消防団の再編にあわせ、団員手当の見直しの検討が考えられますか。

答 近隣の町の団員手当等と比較し、前向きに検討します。

小杉修一議員が問う

国神1号線の地すべり対策と今後の道路改良計画は

質 春の能林林道の土砂崩れ、先般の金沢地区の残土崩落と、町内において災害が続いてしまいました。金崎と国神を結ぶ町道国神1号線の金崎神社付近は今も地すべりが潜在しているようですが、実態と対策、改良計画をお聞かせください。

答 現町道国神1号線は昭和38年の栗谷瀬橋の完成に伴い県道から町道に指定替えがありました。それ以前に金崎神社付近一帯が地すべり区域

に指定され、現在に至るまで県により地すべり対策事業が実施されています。既に11基の集水井が設けられ、現在、地盤変動は起きていませんが、今後も集水井の増設と観察を継続していきます。国神1号線においては、ゴルフ場入口付近の300メートルの区間について、平成25年度に拡幅・改良工事を完了した
いと考えています。

みくな子ども公園に日よけを

質 みくな子ども公園に付き添いで行くお母さんやご年配の皆様から「日よけをつくってほしい」との要望が届くのですが、熱中症も危惧されますので、来年の暑い時期の前にぜひ実現していただきたいところ
です。どう考えられますか。

答 理解いたしますので、全体の視界に配慮し、公園にマッチした日よけをつくりたいと
考えています。



改良工事が進む国神1号線

しつこうがわ (執行側) に考えを聞くものです。ほんかいぎ 本会議で一般質問をしたい議員は「これについて聞きます」ということを記した
じかん 議員1人あたりの持ち時間は質問・答弁を含めて、皆野町議会の場合、60分です。

常山知子議員が問う

農地の耕作放棄対策について

質問 農林業を町の基幹産業と位置づけ、地域一体でどうしたらやっていけるかを考え、大事な農地を放置せず、対策をとる必要があります。皆野町の農地の耕作放棄の現状は。

答弁 放棄地面積は、町全体で1万6071アールです。耕作放棄地に対し、町の対策は。

質問 皆野町の郷土芸能を守り、発展させるために

答弁 皆野町総合振興計画に「伝統芸能の保存と後継者の育成や発表の機会の拡充を図ります」とあります。文化団体の練習場所として、文化会館を無料開放し、町として応援すべきではないですか。

答弁 負担の公平の観点から無料化は現在のところ考え

ていません。

質問 文化団体の補助金について、増額の考えは。

答弁 平成17年度より行財政改革で見直し、民俗芸能13団体に無形文化財後継者養成交付金として援助しています。ご理解ください。

公共交通対策の進捗状況は

質問 視察や調査を通じ、皆野町としてどのような公共交通を指すのかが問われています。町の進捗状況は。

答弁 平成25年4月をめぐりにしたタクシー券の補助制度について、タクシー業者と話を詰めているところです。

質問 単にタクシー券を配布すればよいというものではありません。総合的なまちづくりの観点に立ち、もっと町民の声を聞いてほしいと思います。

答弁 まずこの制度をスタートしていききたいと考えます。

大野喜明議員が問う

「空き家管理条例」を制定し 安心に暮らせるまちづくりを

質問 皆野町においても、管理不全な老朽化した空き家が今後急増すると思われ、放置、老朽化した空き家は、台風・火災・放火・不法侵入・害虫の発生・雑草の繁茂等で町民の安心な生活環境を脅かすこととなります。そこで、「(仮称)空き家等適正管理条例」なるものを制定することを提言します。

答弁 なお、空き家について町民から苦情や相談等があったか、また、数の把握はどうか伺います。

質問 「空き家等適正管理条例」については、今後の研究課題として考えていきます。秩父空き家バンクについては、町内5軒の登録がされています。

質問 皆野町においても、管理不全な老朽化した空き家が今後急増すると思われ、放置、老朽化した空き家は、台風・火災・放火・不法侵入・害虫の発生・雑草の繁茂等で町民の安心な生活環境を脅かすこととなります。そこで、「(仮称)空き家等適正管理条例」なるものを制定することを提言します。

答弁 なお、空き家について町民から苦情や相談等があったか、また、数の把握はどうか伺います。

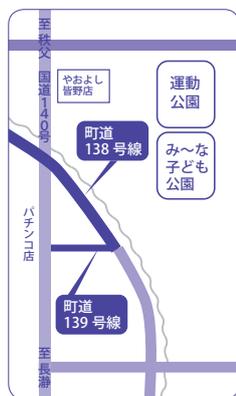
質問 急激な雨や落雷、夏の猛暑からの避難、さらに運動公園を含めた救急病人や、けが人の応急の対応場所が必要と思いますが、考えを伺います。

答弁 日陰や降雨に対応する整備は進めていきますが、多目的に集う建物は考えていません。救急時は最良の対応で救急車を待つことだと思えます。

質問 みくな子ども公園へのアクセス道路の進捗と完成は。

答弁 町道139号線、138号線は25年度に用地買収を行い、早い時期に着工できるように努力を致します。

質問 砂場と案内看板は、今後の整備の中で考えていきます。



林 豊議員が問う

町民の声をきちんと聞いて

明るさが防犯の第一歩

質問 景気低迷の影響か、町内の街路灯が減り、暗がりが増えています。地元からの要望を待っているばかりでなく、町側からも提案し、LED化の総点検時等に防犯灯の増設ができませんでしょうか。また、子ども公園トイレの屋外灯は夜間消えています。つけておくことはできないのでしょうか。公園施設のいたずら防止、周辺の防犯に必要と思いますが。

答弁 防犯灯の増設等は、基本的には地元区長さんの要望によって行っています。LED化後の総点検時に状況を確認して検討したいと



夜は真っ暗

思います。子ども公園は夜10時以降に使うものではないので必要ないかと思えます。なお、トイレ内の照明はつけています。

町民の意見は聞かないの？

質問 来年度の重要施策は何ですか。

答弁 今年度からの継続事業がほとんどです。主なものに、下田野橋の架け替え工事があります。

また、公共交通について、タクシー代の補助事業を始めます。内容については町と業者で協議を進めていきます。

質問 議会・町民と話し合う場を設けるつもりはなかったのですか。

答弁 まずこの制度をスタートしていきたいと考えます。

内海勝男議員が問う

公営水道の拡張整備について

質問 「公共施設整備基金」約6億8000万円の活用と「公営水道」の整備について。この間、三沢地区から出されていた「公営水道整備」に関する請願3件について、当議会で採択してきています。最初の請願採択から既に10年が経過し、三沢旧第6区、8区、9区の一部は「給水拡張区域」として認可が下りています。当時議員として、吉野平、旧第6区からの請願に「賛成」してきている石木戸町長として道義的・政治的責任のもと「事業実施」に向けてどのような考えですか。

答弁 地域の実情など総合的に検討すると、今後も「小規模水道設備設置費補助金交付要綱」で対応していきたいと思えます。

議員当時は「賛成」しましたが、執行側に立つと「町の財政も厳しい中、過疎化、少子化が進む



請願採択されている地域の貯水タンク

地域に億単位の血税を投入することには踏み切れません。例えば、吉野平地区のみ残っていることなら決断できますが、三沢地区のみならず国神、日野沢、金沢地区の一部においても「未整備」地域があり、こうした所からの「要請」等を考えると、慎重にならざるを得ません。

見てきました！先進地 視察レポート

総務教育厚生常任委員会
9/21(身延町)、10/10~11(胎内市)
産業建設常任委員会
10/10~11(胎内市)
※胎内市は両委員会合同研修

先を見据えたきめ細かな 交通体系で、活性化に



身延町の人口はここ30年間にほぼ半減し、高齢化率も39.4%と進んでいます。山間に集落が点在し、そこで多くの高齢者が暮らしているため以前から路線バスではカバーできない集落もあり、小回りのきく公共交通の確保が重要な行政課題となっていました。平成20年10月1日より、身延・下山・中富・下部の各地区で順次運行開始しています。

新潟県胎内市は産業建設常任委員会との合同研修で、まず公共交通関連を視察。少子高齢化が進み、既存の公共交通は7路線23便の定期路線バスの運行がされるも、中心市街地の空洞化や路線バスの利用者の減少、運営費補助金の増加により公共交通事業の見直しを行い、誰もが気軽に利用できるよう定期的に改善がなされているように見受けられました。

身延町、胎内市の公共交通実施に伴う共通点は「デマンドタクシーシステム（NTTシステム）を導入」「利用者は年齢制限がなく誰もが利用できる」「商工観光活性化を担う交通手段にもなり得るため、商工会に運営委託している」「国交省の地域公共交通活性化、再生総合事業費補助金等を導入」などの事項です。

皆野町も今後、既存の公共交通に加え、両市町の公共交通先進地を参考に、先を見据えた、さらなるきめ細かな交通体系を実施し、商業の活性化につながればと思います。

（総務教育厚生常任委員長 新井達男）

今後も注目したい胎内市

胎内市のリゾート事業は合併前の旧黒川村時代に、スキー場やホテルをはじめ観光施設から食品加工工場など、そのほとんどができあがったものであり、現在は正直なところ負の遺産でしかないものと思っていました。現実には多額の残債もあり、先行きは必ずしも明るいとは言えません。

しかし、切るべきものは切り、利用できるものを残しながら、身の丈に合わせようとする試みは、注目すべき点多々あるように感じました。豪華なホテル施設があるかと思えば、対極の民泊のシステムも住民を巻き込んで事業化している点等々です。

著名な観光地に挟まれ、観光資源に乏しいところは当町と似通っていますが、昔も今も積極的かつ綿密な計画のもとに果敢な観光行政を行っていると感じさせられました。

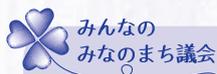
「オンリーワンのふる里を目指す」という方向性は、当町の観光方針と重なる部分でもあり、もう少し突っ込んだ内容の視察がしてみたいと感じました。

総じて、この胎内市は今回の視察目的であった公共交通、観光事業だけでなく、いろいろな産業面等での取り組みについても注目すべき点多々あり、今後とも情報を求めていくべきであると思っています。

（産業建設常任委員長 林 豊）



胎内市 市営スキー場



一部事務組合議会議員からの報告
新火葬場建設に向けての
計画をお知らせします



平成29年2月の全面供用に向け、施工業者の公募も開始

秩父広域市町村圏組合議会 議員…四方田 実

秩父広域市町村圏組合で建設計画を進める新火葬場の基本計画が作成され、建築設計と火葬炉設備計画施工業者の公募が始まっています。公募方法は、設計の取り組み方針などを総合的に評価して決める「プロポーザル方式」。基本計画によると、現在の市営馬場のある所を中心に、2.2ヘクタールの土地に、2800～3200平方メートルの斎場を建設。総事業費は18億円～19億円。平成24年度に建築設計と火葬炉設備を決定し、平成28年10月に部分供用、平成29年2月全面供用の予定です。斎場施設、外構施設の概要は、下表のような計画です。

新火葬場施設の概要が決まりました	
火葬施設	人体炉4基・動物炉1基 公害防止装置…再燃焼炉排ガス冷却装置、バグフィルター等、公害防止に特に留意した設備の導入 告別室、収骨室、霊安室、エントランスホール、台車置き場等
待合施設	待合室4室（収容50名程度の洋室） 自動販売機コーナー、授乳室、持込飲食物対応関連室、喫煙スペース（屋外）
式場施設	多目的室1室（収容20名程度）、通夜泊まりに対応する和室
その他	一般駐車場…80～85台程度、バス駐車場…中型バス5台程度
休業日	日曜日・年始（現斎場と同様）



発行：埼玉県皆野町議会
編集：議会だより編集委員会
TEL 0494-62-1467 Fax 0494-62-2791
gikai@town.minano.saitama.jp
〒369-1492 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野1420-1

編集後記

私見ではあるが、最近、町当局が、議会や町民との話し合いなしに施策を進める傾向に危惧している。私は議員生活10年ほどではあるが、以前は皆野小学校、皆野中学校の改築工事等の重要施策については、町が設けた検討委員会に所属し、多くの町民と意見を出し合った。町当局も自ら議会や町民に対して、積極的に話し合いをすることを改めて要望したい。確かに、多くの人の声を聞くことは手間のかかることではあるが、仲間うちだけでは独善になりがちである。改めて自戒する今日この頃である。(Y・H)

議会だより編集委員会「私たちが編集します！」
委員長 内海勝男 副委員長 新井康夫
委員 林 豊・大野喜明・新井達男・常山知子

ご意見
募集します！

町民の皆様より、議会だよりに関するご意見を募集いたします。



(FAX) 0494-62-2791

(メール) gikai@town.minano.saitama.jp

議会事務局へ
ファックス
または
メールにて

次の議会は

3月上旬頃に
開催の予定です。

傍聴、お待ち
しています

